

平成 30 年度札幌市子どもに関する実態・意識調査について

1 調査の目的

次期「子どもの権利に関する推進計画」（第 3 次：2020～24 年度）の策定に向け、子どもに関する大人や子どもの意識や状況を把握し、施策検討のための基礎資料とする。

2 調査項目の考え方

大人・子どもそれぞれの普段の生活感覚や意識、認識のほか、共通項目として子どもの安心、体験、参加、地域との関わり、子どもの権利の保障の状況を把握する。

- ・大人用調査票：大人から見た子どもに対する意識や認識を把握する。
- ・子ども用調査票：子どもから見た自分自身や大人への意識や認識を把握する。

調査項目イメージ

<大人>	<子ども>
○子どもに対する意識・認識 ・子どもの印象 ・子どもをめぐる課題 ・子どもへの態度	○子ども自身の意識・認識 ・生活感覚 ・自己認識・評価 ・大人への意識
○子どもの安心（不安や心配、相談先、居場所など） ○子どもの体験（自然、社会、文化の経験の機会など） ○子どもの参加（周囲の理解、意見表明の機会など） ○地域との関わり ○子どもの権利の保障の状況	

3 検討テーマ(例) ※数値から見えるもの、普段感じることなど

- ①広報について（子どもの権利の認知度など）
 - －効果的な広報の手法・内容、年齢に応じた工夫など
- ②子どもの安心について
 - －抱えやすい悩み、大人の見守り、居場所づくり、相談先の周知など
- ③子どもの体験について
 - －学びや体験の機会の促進、人との多様な関わりなど
- ④子どもの参加について
 - －家庭、学校、地域、市政における子どもの意見表明・参加の工夫など
- ⑤地域との関わりについて
 - －地域と子どもの関わり、地域の見守り、子どもの参加の工夫など
- ⑥その他、全体について
 - －子どもの権利の保障、自己肯定感など

4 今後のスケジュール

- 3 月末 調査報告書の取りまとめ
- 5 月頃 次回子どもの権利委員会
- ・平成 30 年度の取組状況報告
 - ・調査結果等に基づく次期計画の検討